保証書

電気ケトル保証書　　持込修理

取扱説明書・本体表示などの注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理いたします。製品と本書をご持参のうえ、お買い上げの販売店にお申しつけください。製品のある場所での出張修理や製品輸送の場合は、出張料や輸送料などの実費を申し受けます。

型　名	CK-FE06/CK-FE08/CK-FE10	修理メモ
※お客様	お名前　☎	
	ご住所　〒	
※お買い上げ日 年　月　日	※販売店名・住所 ☎	
保証期間 お買い上げ日より 本体1年		

※印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

1.ご転居・ご贈答品などでお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社のお客様ご相談窓口にご連絡ください。
2.保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
（イ）使用上の誤りや不当な修理・改造による故障および損傷。
（ロ）お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷。
（ハ）火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変、公害・塩害・ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧・指定外の使用電源（電圧・周波数）などによる故障および損傷。
（ニ）一般家庭用以外（たとえば業務用など）に使用された場合の故障および損傷。
（ホ）車両・船舶などに搭載された場合の故障および損傷。
（ヘ）本書のご提示がない場合。
（ト）本書にお買い上げ年月日・お客様名・販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書きかえられた場合。
（チ）消耗品などの交換。
3.本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
4.本書は盗難・火災などの不可抗力以外で紛失された場合は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

●お客様にご記入いただいた記載内容は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
●この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社のお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

象印マホービン株式会社
〒530-8511 大阪市北区天満1丁目20番5号 ☎(06)6356-2451

愛情点検　長年ご使用の電気ケトルの点検を!

こんな症状はありませんか
●ご使用中、コード・差込みプラグが異常に熱くなる
●その他の異常や故障がある

ご使用中止
こんな症状のときは、故障や事故の防止のため、必ず販売店に点検（有料）をご相談ください。

CK-FE 型 ©

家庭用

ZOJIRUSHI

CK-FE

電気ケトル

型名 CK-FE06 型
CK-FE08 型
CK-FE10 型

取扱説明書

●このたびはお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあとは、大切に保管してください。

保証書つき

もくじ

●この商品は湯沸かし専用です。保温機能はついていません。

安全上のご注意　必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危険や損害の程度を、次の区分で説明しています。

⚠警告　死亡や重傷に結びつく恐れがある内容です。	⚠注意　軽傷または家屋・家財などの損害に結びつく恐れがある内容です。

■お守りいただく内容を、次の区分で説明しています。

してはいけない「禁止」内容です。	実行しなければならない「指示」内容です。

⚠警告

分解禁止

改造はしない。また修理技術者以外の人は分解したり修理をしない
火災・感電・けがの原因になります。
修理はお買い上げの販売店または弊社のお客様ご相談窓口にご相談ください。

水ぬれ禁止

水に浸けたり、水をかけたりしない 流し台など水にぬれた場所に置かない
ショート・感電の原因になります。

ぬれ手禁止

ぬれた手で差込みプラグを抜き差ししない
感電・けがの恐れがあります。

接触禁止

蒸気口・注ぎ口に触ったり、手や顔を近づけない
やけどの恐れがあります。特に乳幼児には触らせないようご注意ください。

禁止

蒸気口をふきんなどでふさがない
湯がふきこぼれ、やけどの恐れがあります。
ふたの変形・変色や故障の原因になります。

ふたを勢いよく閉めない
湯がふきこぼれ、やけどの恐れがあります。

満水表示以上の水を入れない
湯がふきこぼれ、やけどの恐れがあります。

本体を抱きかかえたり、傾けたり、揺すったり、ふたを持って移動や排湯をしない
湯が流れ出て、やけどの恐れがあります。

電気ケトルを転倒させない
湯が流れ出て、やけどの恐れがあります。

交流100V以外では使用しない
火災・感電の原因になります。

禁止

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない
やけど・感電・けがの恐れがあります。

コードや差込みプラグが傷んだり、コンセントの差し込みが緩いときは使用しない
感電・ショート・発火の原因になります。

コードを傷つけない
無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、高温部に近づけたり、重いものを載せたり、挟み込んだり、加工したりするとコードが破損し、火災・感電の原因になります。

氷を入れて保冷用に使わない
結露が生じ、感電・故障の原因になります。

直火（ガス台など）や電気ヒーター・IH調理器などの上に載せない
火災の原因になります。

水以外のものを入れたり、沸かしたりしない
泡立ちが起こり、内容物がふき出して、やけどの恐れがあります。また水路が詰まったり内容器の焦げつきや腐食・フッ素被膜がはがれる原因になります。
- 牛乳・酒・スープ・備長炭・ティーバッグ・お茶の葉
- インスタント食品の調理
- レトルト食品のあたためや食材をポリ袋などに入れて加熱する調理

本体接続部・電源プレート接続部（金属部）にピンなど金属片やごみを付着させない
感電・ショート・発火の原因になります。

本体接続部・電源プレート接続部（金属部）をなめさせない
感電・けがの恐れがあります。特に乳幼児には触らせないようご注意ください。

● お買い上げの製品と本書に記載したイラストは異なることがあります。

⚠警告

必ず実施

内ぶたパッキンが白く変色したら交換する
傾けたり誤って倒したときに湯が流れ出て、やけどの恐れがあります。

定格15A以上のコンセントを単独で使う
他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して、発火の原因になります。

差込みプラグはコンセントの奥までしっかり差し込む
感電・ショート・発煙・発火の原因になります。

差込みプラグの刃（プラグの先端）および刃の取付面にほこりが付着している場合はよくふく　火災の原因になります。

必ず実施

ふたは確実に閉める
倒れたときに湯が流れ出て、やけどの恐れがあります。

異常・故障時には直ちに使用を中止する
そのまま使用すると、発煙・発火・感電・けがの原因になります。
<異常・故障例>
- 差込みプラグ・コードが異常に熱くなる
- コードに傷がついたり、触れると通電したりしなかったりする
- 本体が変形したり、異常に熱くなる
- 本体から煙が出たり、焦げくさいにおいがする
- 本体の一部が割れたり、緩みやがたつきがある
- 蒸気が5分以上出続ける

このような場合は、すぐに差込みプラグを抜いて、販売店に必ず点検・修理を依頼する

⚠注意

接触禁止

ふたを開けるとき、出る蒸気に触れない
やけどの恐れがあります。

使用中や使用後しばらくは高温部に触れない
やけどの恐れがあります。

禁止

本体を持ち運ぶときは、ふた開閉つまみに触れない
ふたが開いて、けが・やけどの恐れがあります。

壁や家具の近くで使わない
蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因になります。

不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使用しない　火災の原因になります。

湯沸かし中は、湯を注がない
湯が飛び散りやけどの恐れがあります。

熱源のそばで使用しない
火災・故障の原因になります。

禁止

専用の電源プレート以外は使用しない 電源プレートは他の機器に転用しない
また海外仕様の電気製品に使用しない
故障・発火の原因になります。

プラグを抜く

使用時以外は、差込みプラグをコンセントから抜く
けが・やけど・絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

必ず実施

お手入れは冷めてから行う
高温部に触れ、やけどの恐れがあります。

差込みプラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の差込みプラグを持って抜く
感電・ショート・発火の原因になります。

コード・差込みプラグが破損した場合には、危険が生じることのないように、製造者もしくはその代理店に交換を行ってもらうこと

お願い

■空だきはしない
火災・故障の原因になります。

■落とす、ぶつけるなどの衝撃を与えない
故障・破損の原因になります。

■キッチン用収納棚などの上で湯沸かしをする場合、蒸気が天井部分に当たらないように注意する
変色・変形の原因になります。

■他の電気機器に蒸気が当たる場所では使用しない
蒸気により、電気機器の火災・故障・変色・変形の原因になります。

■凍結する恐れのある場所に放置する場合は、必ず内容器の水を完全に捨てる
凍結による故障の原因になります。

■本体や電源プレートを引きずって移動しない
机などに傷がつく恐れがあります。

■操作部には水がかからないように注意する
故障の原因になります。

各部のなまえと扱い方

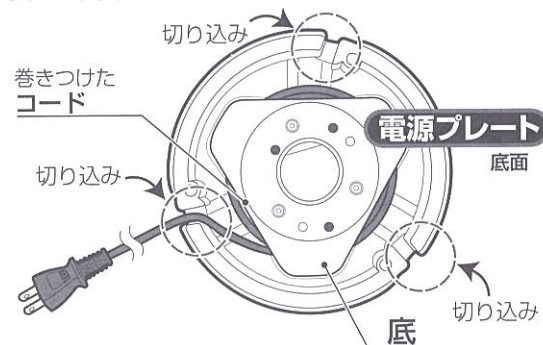
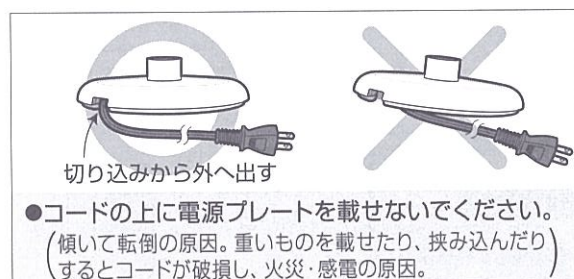
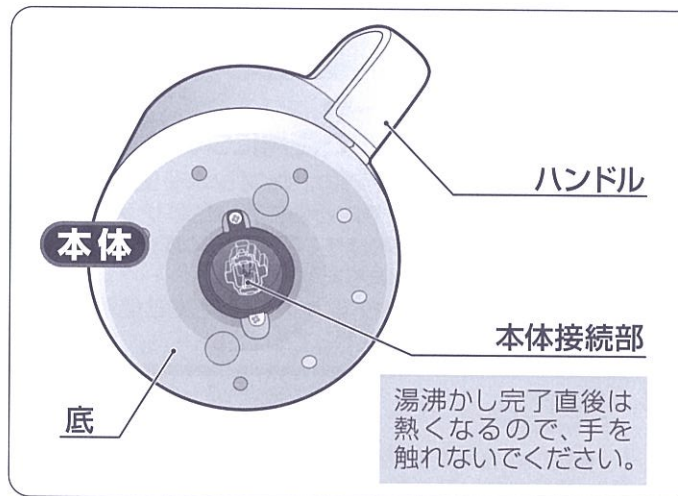
●本製品は、本体と電源プレートのセパレート式になっています。

ふたを開閉するときに「カタカタ」という音がしますが、異常ではありません。 →P.13

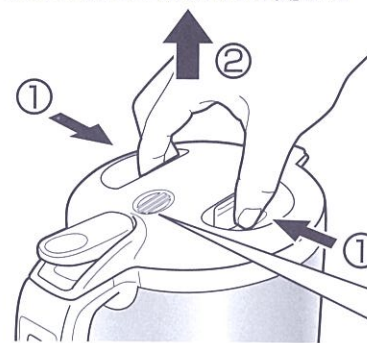
コードの長さ調節方法

コードを電源プレート底部に巻きつけて（時計回り方向）長さを調節し、必ず電源プレートの切り込み（3カ所）からコードを外に出してください。

●切り込み3カ所のどこからでもコードは出せます。

●コードの上に電源プレートを載せないでください。
（傾いて転倒の原因。重いものを載せたり、挟み込んだりするとコードが破損し、火災・感電の原因。）

操作部 ●キーは確実に押してください。

ふたの開け方・閉め方

開け方

①「ふた開閉つまみ」をつまむ
②そのまま引き上げ、ふたを開ける

閉め方

ふたを真下に押し込む

●両側のふた開閉つまみが「カチッ」と音がするまで確実に押し込んでください。

本体が倒れないよう注意してください。
ふたの開閉は本体を電源プレートからはずした状態でおこなってください。

●ふたが完全に閉まっていることを確認してください。
ふた開閉つまみの内側または外側にオレンジ色のラインが見えているときは、ふたが完全には閉まっていません。オレンジ色のラインが見えなくなるまでふたを確実に押し込んでください。
（そのまま使用すると湯が漏れて、やけどの恐れがあります。）

湯を沸かす

初めてお使いになるときや、長期間お使いにならなかった場合は、一度湯を沸かし、注ぎ口から湯を捨ててご使用ください。

使いはじめはプラスチックなどのにおいがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。

1 ふたを開け、別の容器で 水を入れる

本体を電源プレートに載せる前に水を入れてください。

●ミネラルウォーターやアルカリイオン水のご使用について

ミネラルウォーターやアルカリイオン水を使用すると、水面に細かな浮遊物や内容器に乳白色のザラザラしたものがつく場合があります。これは水の成分（ミネラル分）であり、有害ではありません。
ミネラルウォーターやアルカリイオン水をご使用になる場合は、こまめにお手入れしてください。

お願い

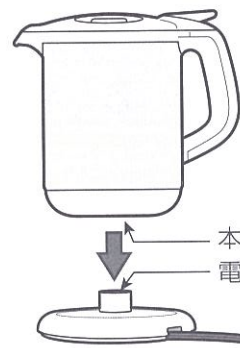
- ●蛇口から水を直接入れたり、流し台に置いて底面をぬらさないでください。（本体に水が入り故障の原因）
- ●本体および操作部に水がかからないように注意してください。（水が入り故障の原因）
- ●「満水表示」以上、水を入れないでください。（蒸気口や注ぎ口から湯がふきこぼれる原因）
- ●水以外のものは入れないでください。
- ●市販の水質改質材（炭など）やミネラル添加材を入れて使用しないでください。（かけらが詰まり故障の原因）
- ●ふたが完全に閉まっていることを確認してください。ふたが完全に閉まっていないと湯が沸いても電源が切れない場合があります。
- ●電源プレートに本体を載せたまま水を入れないでください。（電源プレートに水がかかり故障の原因）

2 ふたを閉め 本体を電源プレートに載せる

❶ふたを閉める

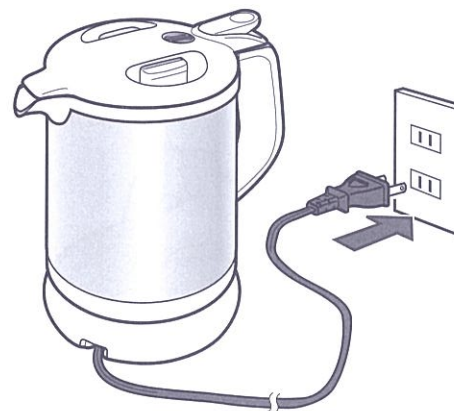
両側のふた開閉つまみが「カチッ」と音がするまで確実に押し込んでください。
（注ぎ口以外から湯が流れ出て、やけどの恐れ）

❷ 本体を電源プレートに載せる

本体接続部を電源プレート接続部に合わせて正しく載せてください。

専用の電源プレート以外は使用しないでください。

電源プレートは清潔で平らなところに置いてください。

3 差込みプラグをコンセントに差し込み 「沸かす」キー押す

❶ 差込みプラグをコンセントに差し込む

●定格15A以上のコンセントを単独で使用してください。
（他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火する恐れ）

❷「沸かす」キーを押す

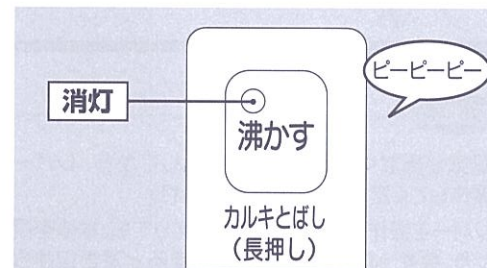
湯沸かしランプが点灯し、湯沸かしを開始します。

●本体を電源プレートに正しく載せないと、「沸かす」キーを押しても湯沸かしを開始しません。

●カルキ臭が気になるときは…
→カルキとばしコース（P.9）

湯沸かしが完了すると
❸ 自動的に電源が切れる

ブザーが鳴り、湯沸かしランプが消灯します。

消灯
沸かす
カルキとばし
（長押し）
ピーピーピー

- ●湯沸かしが完了するまでに電源を切る場合は、「沸かす」キーを押してください。（ピピッとブザーが鳴り、電源が切れます。）
- ●保温機能はありません。

湯沸かし時間		
	06型	約3分10秒
	08型	約4分
	10型	約5分

（室温23℃・水温23℃・満水の場合）

●やけどの恐れがありますので、以下の内容をお守りください。
- ・蒸気口にふきんをかけない
- ・蒸気口から出る蒸気に注意する
- ・湯沸かし中はふたを開けない
- ・湯沸かし中は湯を注がない
- ・湯沸かし中は移動させない

湯沸かし完了直後は本体が熱くなりますので注意してください。

注意
特に蒸気口・本体接続部が熱くなります。

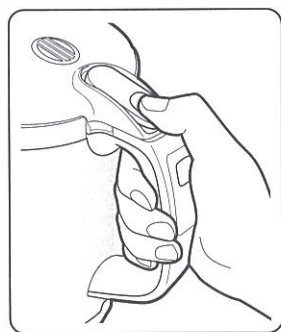
湯沸かし完了直後に、ふたを開けないでください。（やけどの恐れ）

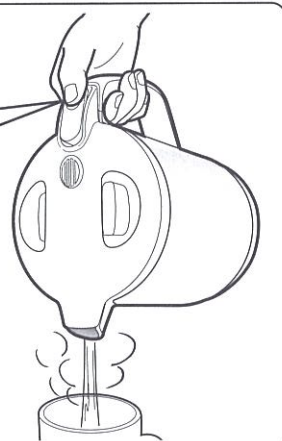
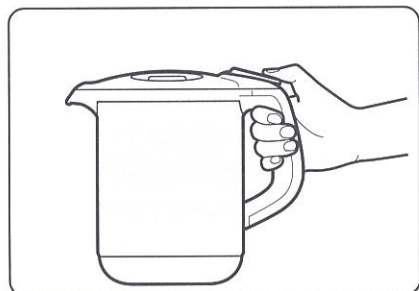
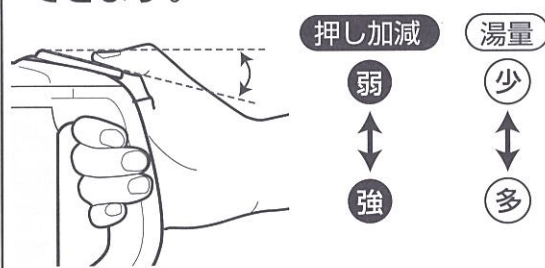
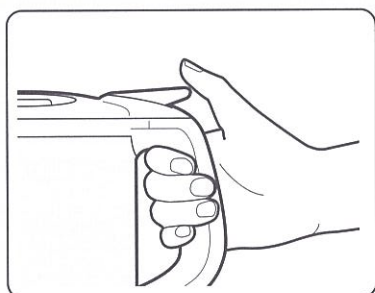
●湯沸かし完了後は、差込みプラグをコンセントから抜いてください。特に乳幼児には触らせないようご注意ください。（感電・けがの恐れ）

湯を注ぐ　沸とう状態がおさまってから湯を注いでください。

湯沸かしランプが消灯していることを確認したあと

本体を電源プレートからはずし、ハンドルを持ち、レバーを押しながら 傾けて湯を注ぐ

① レバーを押しながら、傾けて湯を注ぐ

注意

- 注ぎ口から湯が出ているときに、レバーから指を離さないでください。湯が飛び散り危険です。（やけどの恐れ）
- 蒸気口から出る蒸気に注意してください。（やけどの恐れ）
- 注ぐときは、本体底の本体接続部に手を触れないでください。（熱くなっていることがあり、やけどの恐れ）

② レバーを押したまま本体を水平に戻す

レバーの押し加減で湯量が調節できます。

③ レバーから指を離す

お願い

- 蒸気が出なくなったことを確認してから、レバーを操作してください。（やけどの恐れ）
- レバーを操作していない状態であっても、本体を傾けたり、揺すったり、転倒させたりすると注ぎ口から湯が出ることがありますので絶対にしないでください。（やけどの恐れ）
- 湯沸かし完了直後にふたを開けないでください。（やけどの恐れ）
- 一気に深く傾けて注がないでください。（やけどの恐れ）
- 注いでいる間はふた開閉つまみに触れないでください。（やけどの恐れ）

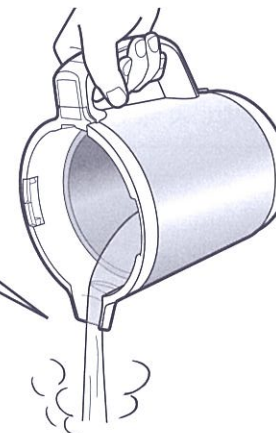
残り湯を捨てる　使用後は湯を残さず、内容器を空にしてください。

ふたを開け、

ハンドルを持ち、傾けて注ぎ口から残り湯を捨てる

注意

湯を捨てるときは、捨てる湯や蒸気に注意してください。（やけどの恐れ）

お願い

- ぬれた手で差込みプラグ・電源プレート接続部を持たないでください。（ショート・感電の原因）
- ふたを開けるときは、蒸気口やふた内部からのしずくが手にかからないように注意してください。（やけどの恐れ）
- 操作部・本体・本体接続部に湯がかからないよう注意してください。（やけどや故障の原因）
- 1日1回は残り湯を捨ててください。（水アカ付着の原因）

空だき防止

内容器が空の状態で「沸かす」キーを押すと、過熱による事故を防ぐために空だき防止機能が働いてブザーが鳴り（ピッ×10回）、電源が自動的に切れ湯沸かしランプが消灯します。

処置　内容器が十分に冷めてから水を入れ、再び「沸かす」キーを押す（やけどの恐れ）

カルキとばしコース

カルキ臭が気になるときは「沸かす」キーを3秒以上押してカルキとばしコースを選択してください。

「沸かす」キーを3秒以上押すと湯沸かしランプが点滅にかわる

点滅

沸かす

カルキとばし（長押し）

カルキとばしが完了すると湯沸かしランプが消灯

カルキとばしをすると…

湯沸かし時間が通常より約2分30秒長くなり、カルキ臭を約75%除去します。（室温23℃・水温23℃・満水の場合）

- カルキとばしが完了するまでに電源を切る場合は、「沸かす」キーを押してください。

お手入れ

必ず差込みプラグを抜き、残り湯を捨て、本体が冷めてから行ってください。

お願い

- **底がぬれた状態で製品を逆さまにして乾燥させないでください。（内部に水が入り、故障・さびの原因）**
- シンナー・ベンジン・みがき粉・たわし類（ナイロン・金属製など）・漂白剤などを使わないでください。（内ぶた・内容器（フッ素被膜）が傷つく原因）
- 食器洗い乾燥機・食器乾燥器を使用しないでください。（樹脂の変形の原因）
- 長期間使用しないときは、十分乾燥させて、においがつかないようにし、ポリ袋などに入れて保管してください。

本体・ふた・電源プレート

よく絞った柔らかい布で汚れをふき取る

- 丸洗いは絶対にしないでください。また、操作部・本体接続部・電源プレート接続部に水をかけないでください。（内部に水が入り、故障・さびの原因）

内ぶた

ぬれた柔らかいスポンジで汚れをふき取る

内容器

定期的にクエン酸洗浄をする
→P.12

このようなときに…

- 赤さび状の斑点（もらいさび）がある
- 乳白色・灰色などの変色・膜状のものが浮遊している

（使用される水質や湯沸かしの回数によって汚れの状態は異なります。）

本体接続部・電源プレート接続部・コード・差込みプラグ

乾いた柔らかい布で汚れをふき取る

部品の交換・購入について

- 損傷した場合は、新しい部品と交換（有料）してください。
- 消耗品は保証期間内でも「有料」とさせていただきます。
- お買い求めの際には製品の型名および部品名をご確認のうえ、お買い上げの販売店でお求めください。
（ホームページでのご購入はP.15参照）

	部品名	部品番号
消耗品	内ぶたパッキン	BF352025M-00
別売品	ポット内容器洗浄用クエン酸 ピカポット（30g×4包入）	CD-KB03-J

内ぶたパッキンの交換

内ぶたパッキンは消耗品です。1年を目安にご確認ください。

新しい内ぶたパッキンは、ぬれた柔らかいスポンジでふいてから取りつけてください。

内ぶたパッキンが白く変色してきたら… 新しい内ぶたパッキン（有料）と交換してください。

内ぶたパッキンが白く変色すると、傾けたり誤って倒したときに、ふたと本体のすき間から湯が流れ出てやけどの恐れがあります。
内ぶたパッキンを交換しても蒸気が漏れたり、湯がふきこぼれるときは、その他の部品が傷んでいることがありますので弊社のお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

はずし方

ふたをしっかり押さえ、内ぶたパッキンをはずす

お願い ●ネジは緩めないでください。

お願い

- 内ぶたパッキンは強い力で引っ張らないでください。（破損の原因）
- 内ぶたをはずした場合は、正しく取りつけてください。

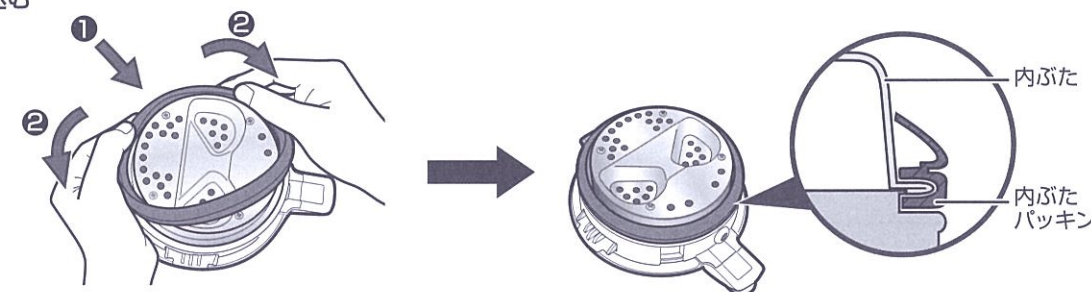
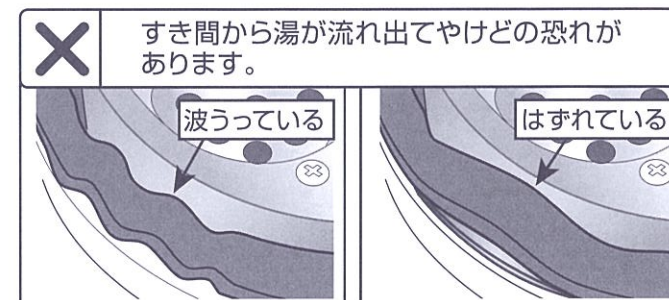
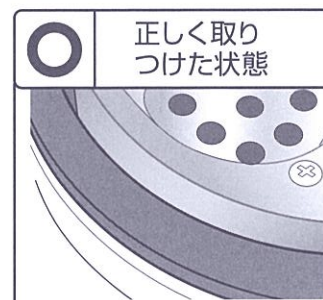
つけ方

❶内ぶた外周に内ぶたパッキンを引っかける
❷内ぶたパッキン全周を図の通りきっちりとはめ込む

内ぶたパッキンが確実にはまっていることを確認してください。

○ 正しく取りつけた状態

× すき間から湯が流れ出てやけどの恐れがあります。

1〜3カ月に1回は

クエン酸洗浄（ピカポット）

泡立ち・ふきこぼれ防止のため弊社の**ピカポット**（ポット内容器洗浄用クエン酸）をお使いください。（別売品）→ P.11

1 コップにクエン酸30ｇを入れて、ぬるま湯で溶かし、内容器に水といっしょに満水表示（△ここまで）まで入れる

2 ふたを閉め差込みプラグを接続したあと「沸かす」キーを押して湯を沸かし、その状態で約2時間置いておく

3 湯を捨てる

4 内容器および注ぎ口内部をすすぐために水だけを沸かし、ふたを閉めた状態で湯を捨てる

お願い

●水は満水表示以上入れないでください。（ふきこぼれの原因）

●汚れが落ちにくい場合は、繰り返しクエン酸洗浄をしてください。

●ミネラルウォーターやアルカリイオン水をご使用になる場合は、内容器にカルシウムなどの汚れが付着しやすくなります。また、内容器に付着した水アカなどの汚れをそのままにしておくと、湯沸かしの音が大きくなります。ミネラルウォーターやアルカリイオン水をご使用になる場合はこまめにお手入れしてください。

商品Q&A

質問	回答	参照
水以外のものを入れてもいいのですか？	水以外は入れないでください。入れたものがふき出してやけどの恐れがあります。また、本体の故障の原因になります。	P.2
毎日湯はかえないといけないのですか？	1日1回は残り湯を捨ててください。残り湯を捨てないと、水アカ付着の原因となり、湯沸かし中の音が大きくなります。	P.9
ミネラルウォーターやアルカリイオン水を使用してもいいのですか？	使用できます。ただし、水面に細かな浮遊物や内容器に乳白色のザラザラしたものがつく場合があります。これは水の成分（ミネラル分）であり、有害ではありません。こまめにお手入れしてください。	P.6
クエン酸洗浄中に湯を飲んでしまった!!	クエン酸洗浄剤に記載されている内容に従って処置してください。	

故障かなと思ったとき

修理を依頼される前に、一度お調べください。

こんなときは	お調べいただくこと	直し方
通電しない 湯沸かしランプが点灯しない 「沸かす」キーが操作できない	差込みプラグがはずれていませんか？	差込みプラグを差し込んでください。
	本体を電源プレートに正しく載せていますか？	正しく載せてください。
	「沸かす」キーを押しましたか？	「沸かす」キーを押してください。
	電源プレート接続部に金属片やごみが付着していませんか？	金属片やごみを取り除いてください。
	沸とう後すぐに「沸かす」キーを押していませんか？	十分に冷ましてからご使用ください。
「沸かす」キーを押しても、しばらくするとブザーが鳴り、湯沸かしランプが消灯する	水は入っていますか？ 空だき防止機能が働いています。	内容器が十分に冷めてから水を入れ、再び「沸かす」キーを押してください。→P.9
注ぎ口や蒸気口から湯がふきこぼれる	水を満水表示以上入れていませんか？	水を満水表示以下に減らしてください。
湯の中で膜状のものが浮遊している	水の成分（ミネラル分）によるもので、内容器の腐食・フッ素被膜のはがれではありません。	クエン酸で内容器をお手入れしてください。→P.12
内容器に乳白色のザラザラしたものがつく 湯沸かし中に大きな音がする	水の成分（ミネラル分）によるもので、内容器についた水アカなどの汚れをそのままにしておくと、音が大きくなります。	
内容器に赤さび状や灰色の斑点がつく	水の中の鉄分によるもので、内容器の腐食ではありません。	

水アカ

お使いいただいているうちに、水の中に含まれているカルシウムなどのミネラル分が、内容器に付着してきます。これは「水アカ」と言われているもので、有害ではありません。

	項目	説明
ふたの消耗	内ぶたパッキン	●内ぶたパッキンは消耗品ですので、1年を目安にご確認ください。ふたと本体のすき間から蒸気が漏れたり、白く変色してきた場合は交換してください。→P.11
ふたの消耗	樹脂部品	●ふたの樹脂部品は、ご使用にともない傷んでくる場合があります。食品衛生上安全な材料を使用していますが、樹脂部品が変色したりザラザラしてきた場合は、交換（有料）してください。→P.15
その他	本体が熱くなる	●湯温や室温が高い場合は本体外側が約60℃になる場合がありますが異常ではありません。
その他	コードが熱くなる	●湯沸かし中は、コードが熱くなる場合がありますが異常ではありません。
その他	注ぐときや、ふたを開閉するときに「カタカタ」という音がする	●万一転倒した場合に、湯の流出を防止するためのおもりの動く音です。異常ではありません。

内容器（フッ素加工）は、ご使用にともない傷んでくる場合があります。
お買い上げの販売店または、弊社のお客様ご相談窓口にご相談ください。

仕　様

型　名		CK-FE06	CK-FE08	CK-FE10
定格容量		0.6L	0.8L	1.0L
電源		交流100V　50/60Hz		
消費電力		1300W		
コードの長さ		1.3m		
外形寸法(約cm)	本体のみ	幅23.0×奥行14.5×高さ18.5	幅23.0×奥行14.5×高さ20.5	幅23.0×奥行14.5×高さ22.5
	電源プレート含む	幅23.0×奥行14.5×高さ20.5	幅23.0×奥行14.5×高さ22.5	幅23.0×奥行14.5×高さ24.5
質量	本体のみ	約1.0kg	約1.0kg	約1.0kg
	電源プレート含む	約1.2kg	約1.2kg	約1.2kg

●特定地域(高い山・厳寒地)においては、所定の性能が確保できないことがあります。こうした場所での使用はなるべくおさけください。

●この製品は、日本国内交流100V専用に設計されています。電源電圧や電源周波数の異なる外国では使用できません。 また、アフターサービスもできません。

This appliance was designed for use in Japan only where the local voltage supply is AC100V and should not be used in other countries where the voltage and frequency vary.
After sales-service for this appliance is not available outside of Japan.

此产品只针对于日本国内专用交流电压 100V 所设计。由于各国所使用电压或电源频率不同，请勿使用于其它地区。
另亦无法对此提供售后维修服务。

此產品為針對日本國內專用交流電壓100V所設計。由於各國所使用電壓或電源頻率不同，請勿於其他地區使用。
另亦無法對此提供售後維修服務。

본 제품은 일본 국내교류 100V전용으로 설계되었기에 전압이나 전원 주파수가 상이한 외국에서는 사용할 수 없습니다.
A/S 또한 불가능합니다.

アフターサービス

1. 保証書の内容のご確認と保管のお願い

必ず「販売店印およびお買い上げ日」をご確認のうえ、お買い上げの販売店から受け取り、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

2. 保証期間は、お買い上げ日より1年間

ただし、内ぶたパッキンは消耗品のため、保証期間内でも「有料」です。

3. 修理を依頼されるとき

≪保証期間中≫
製品に保証書を添えて、お買い上げの販売店にご持参ください。保証書の記載内容に基づき修理いたします。

≪保証期間を経過しているとき≫
修理すれば使用できる製品は、ご要望により有料修理いたします。

4. 補修用性能部品※の保有期間は、製造打ち切り後 5年間

※性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5. 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

「技術料」は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
「部品代」は、修理に使用した部品および補助材料代です。
「出張料」は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

■お客様ご自身での修理・分解や改造は絶対にしないでください。

お客様ご相談窓口

修理・お取り扱い・消耗品や部品ご購入などのご相談は、まずお買い上げの販売店にお問い合わせください。
ご転居やご贈答品などでお困りの場合は、弊社の窓口「お客様ご相談センター」にお問い合わせください。
所在地・電話番号などは変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

お客様ご相談センター　ナビダイヤル® **0570-011874**
市内通話料金でご利用いただけます

受付時間　9:00～17:00　月曜日～金曜日（祝日・弊社休業日を除く）
●携帯電話・PHS・IP電話など（ナビダイヤルが利用できない電話）でのお問い合わせ・・・・・・・・・・・・・・・Tel　(06)6356-2451
●ファクシミリでのお問い合わせ・・・・・Fax　(06)6356-6143
製品の「型名・お問い合わせ内容」と、お客様の「お名前・ご住所・電話番号・Fax番号」をご記入のうえ、お問い合わせください。

〒530-0043　大阪市北区天満1丁目19番9号

お客様からご提供いただく「お名前・ご住所・電話番号など」は、製品のアフターサービスおよびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承願います。

ホームページのご案内

部品・消耗品・別売品のご購入専用ページ　http://www.zojirushi-de-shopping.com/